

聖霊降臨節第 11 主日(平和聖日)礼拝
2021年8月1日 10:30
日本基督教団 代々木上原教会 礼拝堂

司式:中村吉基牧師
奏楽:ヒムプレーヤー

前 奏

招 詞 エレミヤ書 33 章 6 節

見よ、わたしはこの都に、いやしと治癒と回復とをもたらし、彼らをいやしてまことの平和を豊かに示す。

讃美歌 371 番(このこどもたちが) *3 ページをごらんください

聖書朗読

旧約聖書 ハガイ書 2 章 1～5、19 節

1 七月二十一日に、主の言葉が、預言者ハガイを通して臨んだ。2 「ユダの総督シャルティエルの子ゼルバベルと大祭司ヨツァダクの子ヨシュア、および民の残りの者に告げなさい。3 お前たち、残った者のうち／誰が、昔の栄光のときのこの神殿を見たか。今、お前たちが見ている様は何か。目に映るのは無に等しいものではないか。4 今こそ、ゼルバベルよ、勇気を出せと／主は言われる。大祭司ヨツァダクの子ヨシュアよ、勇気を出せ。国の民は皆、勇気を出せ、と主は言われる。働け、わたしはお前たちと共にいると／万軍の主は言われる。5 ここに、お前たちがエジプトを出たとき／わたしが お前たちと結んだ契約がある。わたしの霊はお前たちの中にとどまっている。恐れてはならない。19 倉には、まだ種があるか。ぶどう、いちじく、ざくろ、オリーブは／まだ実を結んでいない。しかし、今日この日から、わたしは祝福を与える。」

新約聖書 マルコによる福音書 4 章 26～32 節

26 また、イエスは言われた。「神の国は次のようなものである。人が土に種を蒔いて、27 夜昼、寝起きしているうちに、種は芽を出して成長するが、どうしてそうなるのか、その人は知らない。28 土はひとりでに実を結ばせるのであり、まず茎、次に穂、そしてその穂には豊かな実ができる。29 実が熟すと、早速、鎌を入れる。収穫の時が来たからである。」30 更に、イエスは言われた。「神の国を何にたとえようか。どのようなたとえで示そうか。31 それは、からし種のようなものである。土に蒔くときには、地上のどんな種よりも小さいが、32 蒔くと、成長してどんな野菜よりも大きくなり、葉の陰に空の鳥が巣を作れるほど大きな枝を張る。」

祈 禱

説 教「平和のタネがまだあるなら……」

佐原光児牧師

祈 禱

讃美歌 516 番(主の招く声が) *5 ページをごらんください

聖 餐

献 金

(礼拝当番による祈りに続いて「主の祈り」をささげましょう。)

天にまします我らの父よ。願わくは御名(みな)をあげさせたまえ。御国(みくに)を来たせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も 与えたまえ。我らに罪を犯すものを我らが赦(ゆる)すごとく、我らの罪をも赦したまえ。我らを試(こころ)みにあわせず、悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは、限りなく汝(なんじ)のものなればなり。アーメン。

祝 禱(派遣と祝福)(ご無理のない方はご起立ください)

佐原光児牧師

後 奏